

# 1 部

学習サポート

# 11 / 1 ~ 12 / 12の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2014』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

## ■全学生に関連するもの

|                            | 提出物         | 締切日                           |
|----------------------------|-------------|-------------------------------|
| 12月科目修了試験                  | レポート・申込みハガキ | 11月19日(水)                     |
| 冬期スクーリングⅠ<br>(12/13~12/28) | 申込みハガキ      | 11月20日(木)                     |
| オンデマンド・スクーリング              | Web上で申込み    | 11月17日(月)正午ほか<br>本冊子 p. 46表参照 |
| 12月在宅web科目修了試験             | レポート・申込メール  | 12月9日(火)正午                    |
| 追加履修冬期分申込み                 | 巻末申込用紙      | 11月20日(木)                     |

|                                                                                            | 受付日                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <b>レポート</b><br>(レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。) | 11月11日(火) 11月20日(木)<br>12月2日(火) 12月11日(木) |

※「スクーリング受講者専用別レポート」締切：(郵送) 受講後1カ月以内  
(オンデマンド) 5部参照

## ■社会福祉援助技術演習・実習関連

|                                                                                              | 提 出 物                               | 締 切 日                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| <b>★■社会福祉援助技術演習 A・◆演習 I</b><br>スクーリング受講申込用紙<br>(『With』102号巻末)<br>+<br>1 単位めレポートなど<br>受講条件の達成 | H27. 1 月仙台会場<br>受講希望者<br>→11月30日(日) | 『レポート課題集<br>2014(社会福祉編)』<br>「★■演習 A」<br>p. 133～137<br>「◆演習 I」<br>p. 187～191  |
| <b>★■社会福祉援助技術演習 B</b><br>2・3 単位めレポート<br><b>◆社会福祉援助技術演習 II</b><br>2 単位レポート<br>(スクーリング事後レポート)  | 9 / 15 実習申込者<br>→11月30日(日)          | 『レポート課題集<br>2014(社会福祉編)』<br>「★■演習 B」<br>p. 138～141<br>「◆演習 II」<br>p. 192～195 |
| <b>★■社会福祉援助技術演習 C</b><br>3 単位めレポート                                                           | 9～10月受講済者<br>→11月21日(金)             | (注)<br>『レポート課題集<br>2014(社会福祉編)』                                              |
| <b>★■社会福祉援助技術実習指導 B</b><br>課題 3・5<br><b>◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後)</b><br>課題 3-①<br>(実習事後課題)        | 12 / 13 受講希望者<br>→11月21日(金)         | 「★■演習 C」<br>p. 142～146<br>「★■指導 A」<br>p. 147～150<br>「★■指導 B」<br>p. 151～154   |
| <b>◆社会福祉援助技術現場実習指導(事前)</b><br>課題 1-①<br>(実習計画案)                                              | 12 / 20 受講希望者<br>→11月28日(金)         | 「◆指導」<br>p. 196～198<br>+『試験・スクーリング<br>情報ブック2014』<br>p. 35～36                 |

## ■精神保健福祉援助演習・実習関連

|                                                                                         | 提出物                         | 締切日                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>■精神保健福祉援助演習 A</b><br>スクーリング受講申込用紙<br>(本冊子巻末)<br>+<br>1 単位めレポートなど<br>受講条件の達成          | 12・1 月受講希望者<br>→11月30日(日)   | (注)<br>『レポート課題集<br>2014(社会福祉編)』<br>「■演習 A」<br>p. 237～240<br>「■演習 B」<br>p. 241～245<br>「■指導 A」<br>p. 250～253<br>「■指導 B」<br>p. 254～257<br>「◆★演習」<br>p. 266～270 |
| <b>■精神保健福祉援助演習 B (実習免除者用)</b><br>スクーリング受講申込用紙<br>(本冊子巻末)<br>+<br>1 単位めレポートなど<br>受講条件の達成 | 1 月受講希望者<br>→11月30日(日)      |                                                                                                                                                             |
| <b>■精神保健福祉援助実習 A</b><br>受講申込                                                            | 11月30日(日)                   |                                                                                                                                                             |
| <b>■精神保健福祉援助実習指導 B</b><br>課題 3-②<br>(実習 B 事後レポート)                                       | 11/29・30受講希望者<br>→11月10日(月) | +『試験・スクーリング<br>情報ブック2014』<br>p. 37～41                                                                                                                       |

## ■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

|                                                                                                              | 締切日                        | 備考                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------------|
| <b>介護実習事前事後指導</b><br><b>スクーリング受講申込み</b><br>(『レポート課題集2014 (心理・<br>教職編)』巻末の「 <u>介護実習</u><br><u>登録カード</u> 」を提出) | 1/10～12受講希望者<br>→12月10日(水) | 『レポート課題集<br>2014(心理・教職編)』<br>p. 161～168 |
| <b>教育実習・障害者(児)教育実習</b><br>誓約書・健康診断書(・個人調<br>査票のコピー)提出                                                        | 1 月実習開始者<br>→11月15日(土)     | ※事前指導受講済<br>者のみ対象                       |

## ■その他

---

### ●コミュニケーション英語（1月スクーリング受講希望者）

- ・ 1 単位めレポート提出期限（冊子版使用者） 11月10日(月)

### ●心理学実験Ⅰ

- ・ 実験レポート提出期限（札幌会場受講済者） 11月14日(金)

# 数値や制度の変更に 敏感になりましょう

教員 MESSAGE

専任講師 佐藤 英仁

## はじめに

「福祉行財政と福祉計画」、「医療・福祉経済論」を担当している佐藤英仁です。2014年10月には札幌にて「保健医療サービス論」のスクーリングを担当させていただきました。私の専門は経済学（医療経済学・福祉経済学）ですので、いくつかの数値を取り上げながら、通信教育部で学ぶ皆さんにお願いしたい点と数値を扱う上での注意点を記載します。

## 役に立つ知識・多面的なものの見方

国家試験の勉強では、時には知識の詰め込みも必要です。全く何のことも分からないけど、とにかく用語だけは覚える。しかし、通信教育部で学ぶ皆さんには役に立つ知識をつけ、多面的に物事を見られるようになっていただきたいと思っています。

2014年4月に消費税が5%から8%に上がりました。皆さん、2014年3月のことを思い出してください。消費税が上がる前に買ってしまおうと考え、実際に買った物はあるでしょうか。消費税が上がる前に10万円のテレビを購入したので3000円（3%分）安かった！ 本当にそうでしょうか。実は別な見方をすることもできます。経済学の基本的な理論に従うと、物の価格は需要と供給の関係で決定します。人気で売れている物の価格は上がり、不人気で売れ残る物の価格は下がると考えます。さて、2014年3月、消費税が上がる前に買ってしまおうと考える人が続出（これは「駆け込み需要」と呼ばれる現象です）、テレビも売れたことでしょう。ところ

が4月になり、実際に消費税が上がった途端、テレビの人気は下がり、売れなくなったことは容易に想像できます。売れなくなったテレビは値下げをしますが、5000円値下げをすることもあり得るでしょう。つまり、消費税の増税前に物を購入した方が得だと思えることは一面的な見方に過ぎません。

多角的な見方をすることでより知識を深めることができますし、本当に役に立つ情報を得ることができます。また、その制度が導入された背景や導入後の効果や問題点について考えることも重要です。

## 日々変化している数値・制度

---

私の担当科目である「福祉行財政と福祉計画」や「保健医療サービス論」では去年のテキストが今年一部使えなくなっています。数値や制度は日々変化します。国家試験を念頭に置いた場合、選択肢がありますので、細かな数値を正確に覚える必要はありませんが、順位が変動した場合、注意が必要です。いくつかの例を取り上げますので、皆さんが持っているテキストの記述はどうなっているかを確認して下さい。

日本人の死因について、長い間、第1位は悪性新生物（がん）、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっていました。ところが、2011年（平成23年）にこの順位に変更が生じました。第3位であった脳血管疾患が第4位に後退し、かわって肺炎が第3位となりました。つまり、日本人の死因の第3位が脳血管疾患となっているテキストは古いテキストです。

国家予算における歳出についても今年大きな変更がありました。昨年度（平成25年度）の予算では文教及び科学振興費が4番目に多い歳出の項目でしたが、今年度（平成26年度）の予算ではこれが5番目に後退、かわりに公共事業関係費が4番目に浮上しました。つまり、公共事業関係費が文教及び科学振興費より少なくなっているテキストは古いテキストです。

医療計画について、都道府県が医療計画として策定すべき事項に4疾病5事業があります。4疾病とはがん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病ですが、2013年の4月からこれに精神疾患が加えられ5疾病になりました。つまり、現在は5疾病5事業になっていますので、4疾病5事業となっているテキストは古いテキストです。

これはほんの一例です。この他にも様々な数値や制度の変更がありました。

## スクーリングの意義

---

昨年までに古いテキストで勉強した内容はすべて無駄となってしまったのでしょうか。決してそんなことはありません。数値や制度の変更に対応し、ほんの一部知識を修正すればいいのです。それではどのように数値や制度の変更に対応していけばいいのか、実は最も有効な方法はスクーリングです。スクーリングでは、それぞれの担当教員が最新の変更に対応した講義を行っています。まだ、変更が反映されたテキストが販売されていない段階でも、皆さんはスクーリングを通して最新の数値や制度を学ぶことができます。テキストによる学習では得られない知識をスクーリングでは得ることができるのです。スクーリングの意義は非常には大きいのです。

## おわりに

---

私が担当している講義は、特に数値や制度変更が多くなっています。それに対応するため、毎年資料を更新し、スクーリングの受講者に対し膨大な資料を配布しています。しかしながら、配布した資料に誤記が含まれていたことをお詫びしなければなりません。今後、講義の質、資料の質を高めるため一層努力していく所存です。

最後になりましたが、私のスクーリングを受講された方に改めて御礼申し上げます。

# 時空を共にして研究する喜び

教員 MESSAGE

兼任講師 齋藤 征人

## 11/22～24開講分のお詫び

このたび諸般の事情により、11/22～24東京会場で予定しておりました「社会福祉原論（職業指導を含む）」のスクーリングを担当できず、皆さんにご迷惑をおかけいたします。まずもって、学生の皆さんと田中治和教授、関係各位にお詫び申し上げます。

## 23年ぶりの再会

私事で恐縮ですが、本務の都合で今年北海道帯広から函館へ転居しました。函館は、幼い頃から高校時代までを過ごした言わば「地元」です。

先日ある小学校を訪ねた時のことです。偶然にもそちらの校長先生が、私が中学時代に所属していた部活動の顧問の先生をよくご存知で「今年で定年を迎えられるから、ぜひ近々会いに行った方がいい」とのこと。勧められるがまま、その先生と当時お世話になった担任の先生のもとを、後日訪問しました。お二人はすでに校長先生でしたが、卒業アルバムを見ながら、当時を共に懐かしむことができました。

思えばこれまでの私は、学校や職場、地域での人間関係をその場限りのものとして絶ってきたきらいがありました。しかし、このたびのように20年以上の時間と空間を超えて再会できた喜び、ご縁が続いたことの有り難さ进行うとき、人は人によって傷つくこともあるけれど、やはり人は人によって救われるものと、あらためて実感できたのでした。

## 障害者福祉論(札幌スクーリング)を受講された皆さんへ ―

私は講義のなかで、障害をもつことがこの世に生きるうえでの「生活のしづらさ」になることを完全に否定することはし難いものの、障害をもつことに内包する「強み」についても、若干の私見を述べさせていただいております。このスクーリングでの学びが、対象者別の制度論としてだけでなく、当事者性や臨床的なものの見方・考え方によって、私たちの障害観や障がい者観を問い直す機会にもなればと思いながら。

皆さんの熱心かつ真摯な受講によって、今回もその課題にトライできたように感じております。ありがとうございました。

## またスクーリング会場でお会いしましょう ―

私は、本学では主に札幌や東京のスクーリング会場で、学生の皆さんにお目にかかります。担当科目は「社会福祉原論」「障害者福祉論」「地域福祉論」「社会福祉援助技術演習」などさまざまですが、いずれの科目においても多様な経験をお持ちの皆さんと出逢い、まさに時間と空間を共にしながら、授業を通して研究を深めることに、他にない喜びと魅力を感じている者の一人です。どんなにICT技術が進もうと、やはりスクーリングでのライブ感に勝るものはありません。

それだけに、今回東京会場でお目にかかることが叶わない皆さんには、また別の機会に、ぜひスクーリング会場でお会いできればと思っております。ご家庭の事情やお仕事をしながらの学修は必ずしも容易なことではありません。だからこそ、せっかくの貴重な時間を割いてスクーリングに出席される皆さんに、多少なりとも「受講してよかった」と思ってもらえるよう、引き続きより一層の授業準備と内容の充実を図って参ります。

## スクーリング・アンケートより(1)

アンケートよりスクーリングの講義の感想を抜粋いたしました。

### ●更生保護制度論

- ・犯罪が発生してからの流れがよくわかった。刑務所での受刑者の過ごし方など、普段知らないことを聞くことができた。罪を犯したから刑務所に入るのではなく、なるべく日常生活を送りながら改善・更生・社会復帰を目指す社会内処遇が重要視されているということが印象に残った。
- ・今回の講義を通して社会福祉士が刑務所に配属されるようになったことを学び、自分も以前勤め先で服役を終えた高齢者と関わる機会があったこともあり、自分の地域の刑務所や医療少年院などで受刑者の高齢化などの現状も踏まえ、何か役に立てられたらと思った。

### ●福祉法学

- ・講義が面白く、とても分かりやすかった。配付資料がなかったため、ノートに必死に書き留めたことがかえって内容が頭に入ったように思う。
- ・「人間は常に前に進むこと、ゆっくりでもいい、止まってしまえばゼロになる」先生の言葉に勇気をもらいました。私も少しずつでも勉強に励もうと思います。

### ●地域福祉論

- ・震災後、地域の関わりの重要性について強く感じるようになりました。どの福祉分野でも、そこに地域が結びついたとき、人々は本当の意味でのノーマライゼーションを実現し、質の高いQOLの実現となるのではないかと講義を通して考えました。私の住む地域も将来的には高齢者の町になると思います。それから対応するのではなく、そのための準備も含め、今から地域づくりを自分たちの手でしていくことが重要ではないかと感じました。
- ・福祉教育の中で高齢者や障害者の疑似体験が行われていることについて、先生の反対意見を聞き、考えさせられました。ただかわいそうという思いだけでは福祉教育とは言えないと感じました。もう少しよく考えてみたいと思います。

### ●社会保障論

- ・社会保障は一見整備されているように見えるが、年金にしても、介護や医療にしても、できることに限界があること。また、社会の状況の変化が激しく、安定していないこと。それに対しての社会保障のあり方とは？将来はどうなるのか？本当にいろいろ考えさせられました。
- ・木を見るだけでなく、森を見て考えることの大切さを学びました。制度別に見るだけでなく、それぞれの制度は密接に関わりあっていること、そのbetterな内容は？などという考え方が学べたところがとても勉強になりました。